

	11月1日現在	前月比
男	14,189	+10
女	14,272	+5
計	28,461	+15
世帯数	6,335	+5

79/11



訓練の成果を競う

私たちの財産を火災から守る消防団の、消防ポンプ操法競技大会が、去る10月30日、八郷公民館 グランドで行われました。

競技では、小型ポンプの部と自動車ポンプの部が行われ、日頃の訓練の成果を競い合った結果、小型ポンプの部は第7分団第3部（林）が、自動車ポンプの部は第2分団第1部（小幡）が、それぞれ優勝しました。

なお、11月26日からは秋の火災予防運動が始まります。皆さん、火の元には十分注意をしましょう。

今月号のごあんない

園部小新校舎建築工事始まる……………	2 P
高桑さんから5名が受彰「菊地四郎顕彰基金」…	2～3 P
12月13日は町議選の投票日……………	3 P
保育所に入所希望の方へ……………	4 P
若人の祭典「青年のつどい」……………	5 P
身障者スポーツ大会に27名が出場……………	6 P
保健婦の健康メモ、わが家の味……………	7 P

小さな手 大きくあげて横断歩道をわたしましょう

恋瀬小5年
竹林 かおる

園部小新校舎建築工事始まる

鉄筋三階建てで来年七月完成予定

今年度から二カ年の継続事業で建築する園部小学校新校舎は、現在の学校の南側、大字宮ヶ崎地内に一万一千六百六十二平方メートルの学校用地を確保し、十月から二千三百七十万円の工費をかけて行っていた造成工事もほぼ完成して、いよいよ校舎の建築に着手しました。

校舎の建築工事は、五社を指名した競争入札の結果、工費二億一千六百万円で落札した柿岡の常洋建設株式会社が、設計管理は下館市の一本杉建築設計事務所が行います。完成予定は来年七月ごろ。新しい校舎での授業ももうすぐです。

一ト三階建てで、七つの普通教室と理科室、音楽室、図書室、図工室、視聴覚室、家庭科室の六つの特別教室などからなり、総床面積は二千二百五十平方メートル（非常階段を含む）になります。



完成もまじかい造成工事現場



菊地四郎顕彰基金

高桑さんら5名が受彰

11月3日に「つくばね」で顕彰式

明るく住みよい社会建設に著しい功績があった方々を顕彰、ならびに表彰する菊地四郎顕彰基金の顕彰式が、十一月三日の「文化の日」に国民宿舎「つくばね」で行われ、よい母三名とよい父一名が顕彰、善行者一名が表彰を受けました。

この顕彰基金は、十月九日に八十四歳でお亡くなりになられた、柿岡の菊地四郎さんからの二百万円の寄付により設立されたもので、昭和四十四年度に第一回の顕彰式が行われて以来、今回の受彰者を含め、九十七名の方が顕彰および表彰を受けています。

受彰者の横顔

〈顕彰—よい母〉



高桑よしさん
(真家・54歳)



飯村みよしさん
(上林・66歳)

十四年前夫が脳卒中で倒れて半身不随となった時、三人の子供（二男中学一年、長女高校三年、二女中学三年）を抱えた高桑さんは、義母と力を合わせた高から、一家の柱として家業の農業、子供の教育、夫の看護と苦勞して働き、農業の暇をみてもは夫をテラーに乗せ、約四キロの道を長期間治療に通い続けるなど、献身的な看護を行ってききました。また、夫の様子を見てはテラーに乗せ、連れ立って畑に行き、十時のお茶をいっしょに飲むなど、精神面のイライラ解消にも努力し、娘二人も嫁がせた現在、一家四人の明るく円満な家庭を築いています。

太平洋戦争で夫を亡くし、戦

十二月十三日は町議選の投票日

安心して町政を託せる人に投票を

任期満了に伴う町議会議員一般選挙（定数二十二名）が、十二月十三日に行われます。この選挙は、私たちの生活に非常に密着した大切な選挙です。十三日の投票日には、安心して町政を託せる人を慎重に選んで投票しましょう。

投票できる方

昭和三十四年十二月十四日までに生まれた方で、昭和五十四年九月五日以前から引き続き八郷町に住み登録をされている方。

九月六日以降に転入された方は、今回の選挙の選挙権はありません。

立候補届の受付期間

十二月六日から七日まで

投票時間

午前七時から午後六時まで

不在者投票のできる方

選挙人名簿に登録されている方で、次の要件に該当し、投票日に投票できない方は不在者投票ができます。

- やむをえない用務のため、町外に旅行中か滞在中のとき
- 町外で職務または業務に従事中のとき
- 県の指定する不在者投票のできる施設に入っているとき

不在者投票の方法

不在者投票をするときは、印鑑、投票所入場券を持参し、役場内の選挙管理委員会へおいでください。十二月六日から十二日までの毎日、午前八時三〇分から午後五時まで受付けています。

郵便投票のできる方

投票日に投票所へ行つて投票することができない、重度身体障害者の方には、郵便によって投票することができ、制度があります。

衆議院議員選挙の投票率は六八・二%

去る十月七日に行われた衆議院議員総選挙は、朝からの雨にたたられてか投票者の出足が悪く、町の投票結果は有権者二万六千五百五十三人に対し投票者は一万四千八十一人で、男六九・九パーセント、女六六・五パーセント、男女平均六八・二パーセントとなりました。

また、町における開票は、同月午後七時から八郷公民館で行われ、各候補者別の得票数は次のとおりでした。

候補者の氏名	党派	得票数
かんばやし一芳	無所属	330票
竹内 猛	日本社会党	1,535票
あかぎ 宗徳	自由民主党	3,826票
二見 伸明	公明党	2,217票
丹羽 ゆうや	自由民主党	2,583票
中村 喜四郎	自由民主党	2,169票
奈良 達雄	日本共産党	316票
登坂 重次郎	自由民主党	1,001票
有効投票	13,977票、無効投票	103票
持ち帰り票	1票	

この制度に該当するのは、身体障害（戦傷病）者手帳を交付されており、障害の程度が両下肢・体幹は二級（戦傷病者は第二項症）以上、心臓・じん臓・呼吸器は三級（戦傷病者は第三項症）以上の方です。

郵便投票の方法

該当する方は、前もって町選挙管理委員会から「郵便投票証明書」の交付を受けておきます。投票日の四日前（今回の町議選では十二月九日）までに、投票用紙および投票用封筒交付請求書に交付を受けておいた証明書添え、選挙管理委員会に届けると、投票用紙や投票用封筒が直接本人に郵送されます。

※詳しいことは、町選挙管理委員会（役場内）にお問い合わせてください。

争未亡人となった飯村さんは、二人の幼児の養育と親の世話をしながらかたがたに専念し、困難を乗り越えながら一家の生活を支えてきました。このような状態にありながら、温かな性格に加えて部落近所付き合いも良く、子供も立派に成長し社会人となった現在も、年老いた義母のめんどうを見ながら、農業に従事しています。



吉川 幸雄さん
(上林・52歳)

吉川さんは、養豚を主とした農業経営の中心となつて働き、子供五人と義理の妹の子一人を養育しながら、昭和四十四年に高血圧疾患のため寝たきりとなった義母に対し、真心のこもった看護を十年間にわたって続けています。また、十数年前から、身寄りのない精進寺二人を同居させ、農作業に従事させながら家族同様の世話をし、その内の一人が病弱となつてからは、義母同様親切に看護するなど、主婦と農業経営を立派に両立させています。

〈顕彰〉よい父



入江 操さん
(大増・40歳)

三十三歳のとき妻に亡くなられた入江さんは、三人の子供（長女七歳、長男四歳、二女一歳）と病弱な母を抱えるという苦境に立たされたが、朝夕は炊事、洗濯などの家事一切を行う母親となり、昼は農作業等に精を出す父親となつて、一人て一家を支えています。また、このような多忙にもかかわらず、現在は大増小学校、有明中学校のPTA役員としても活躍されています。

〈表彰〉善行



小河原 要さん
(柿岡・70歳)

昭和四十一年、小河原さんは同志と話し合い、身障者の家庭を訪問して会員を募るなど、町身体障害者会結成のため尽力されました。また、現在も同会の会長として活躍し、自宅で会合を開いたり相談に応じたりして、身障者のため努力されており、七月には県身体障害者福祉協議会長より表彰を受けています。

保育所に入所希望の方へ

その役割と入所基準、入所手続は

乳幼児期は、家庭の温かさの中で育てることが大切であり、家庭内でめんどろを見られない場合でも、なるべく家庭の温かみを与えることが必要な時期であるといわれます。

保育所は、保護者が働いていたり病気などのため、家庭内で保育できない幼児を、保護者に代わって、家庭と同じように保育することを目的としています。

そのため、幼児に対して教育を行うことを目的とした幼稚園とは、性質が異なっています。

しかし、過去数年の入所希望内容を見ると、幼稚園と保育所を混同し、保育できる家族がいなくても、入所を希望する方が多く見られました。保育所の入所申請は、その役割を考えて行いましょう。

入所できる基準

保育所へ入所できる幼児は、その家庭の母親が次のいずれかの事情にあり、そのほかの家族も、めんどろを見ることができない場合です。

- ① 昼間家庭外、または家庭内で働いている。
- ② 死亡、行方不明、拘禁などに

よりいい。

- ③ 出産の前後、病気、心身障害など。
- ④ 長期の病人、心身障害者などの看護をしている。
- ⑤ 火災、風水害、地震などにより、家を失ったり破損したりして、その復旧にあたっている。

入所申請手続

入所申し込みには、入所申請書（役場福祉課、各保育所に用意）、印鑑、家族構成のわかるもの（保険証等）のほか、次の

林保育所で園外保育の梨狩りを実施

十月十一日、林保育所では、今年も園外保育の梨狩りを行い、園児たちは大きな梨をまるかじりするなど、全員大喜びでした。



この梨狩りは、竜の口の飯村訓一さんが梨園を無料開放してくださっているもので、今年で三回目になります。

書類が必要です。

なお、来年度の入所申請受付日程などは、決まりしだいお知らせします。

▽入所基準を証明する書類

○勤労者、内職者の場合——会社の発行する雇用証明書（源泉徴収票を交付される勤労者については必要ありません）

○出産、病気、病人の看護などの場合——診断書の写し

▽所得税額（町民税額等）がわかる書類

保育料の算定は、前年度の所得税額（所得税の課税されない家庭は町民税、固定資産税額）の直系分を合算した額が基準となりますので、源泉徴収票の交付される方は源泉徴収票の写し、それ以外の方は役場税務課で発行する課税証明が必要です。

落花生の奨励品種変わる

落花生の「ナカテユタカ」が、多収および良質のいりざや用品種として、茨城県農作物奨励品種に選定されました。これに伴い、今までの奨励品種であった「サチホマレ」は準奨励品種となりました。

ナカテユタカは、収穫期はサチホマレとほぼ同じで、千葉半立より七、十日早い中生種であり、倒伏しにくく、褐斑病、汚斑病に強く、収穫期の熟色もきれいなという生態的特性を持ち、

収穫があります。

また、食味は、千葉半立に比べ風味はわずかに少ないが甘味は強く、サチホマレと比べるとかなり優れています。

▽栽培上の注意

○千葉半立に準じますが、熟期が七、十日早いので、収穫期を見誤らないようにする。

○多収のためには、黒渋、褐斑、汚斑病の防除を行う。

○極端な干ばつ地帯には栽培しない。

園芸施設共済に加入しよう

昭和四十九年度から、全国の主な地域で試験実施されていた園芸施設共済が、今年度から共済制度に取り入れられ、次のような内容で実施されています。

台風などの災害に対しても安心した経営ができるよう、この共済加入をお勧めします。

▽加入できるもの

- プラスチックまたはビニールハウス、ガラスハウス
- 施設内で栽培されている野菜や花き等の農作物
- ▽共済金が支払われる災害
- 風水害、雪害、火災、破裂、病虫害、鳥獣害等
- ▽共済責任期間

原則として一年ですが、年間を通して栽培していないハウスは、短期間（六カ月以上）の加入もできます。

▽共済掛金の額

施設の種類や被覆材、骨格材の違いにより異なりますが、施設内の農作物を含んだ一平方メートル当たりの掛金額は、鉄骨ハウスで三万円、パイプハウスで二万二千円くらいです。

▽共済金の支払額

一平方メートル当たり、鉄骨ハウスで百八十万円（三割被害）、六百万円（十割被害）、パイプハウスで四十二万円（三割被害）、百四十万円（十割被害）です。

※お問い合わせは農業共済へ。



△ 演劇のあいまに行われたフォークコンサート



◁ おしめない拍手を送る観劇者たち

▽ 子供たちに人気のあった竹馬作り



▷ 青年たちによって行われた演劇「寒がも」



▷ いせいよく柿岡商店街へくりだす儼みこし



若人の祭典 '青年のつどい'

10月27日と28日の両日、「行動」「情熱」「和」をテーマにした「青年のつどい」が、八郷公民館で開かれました。今回で6回目を迎えるこのつどいは、毎年新しい趣向を凝らした催しが行われていますが、今年は米俵を利用した「おみこし」で柿岡商店街をねり歩き、つどいを盛り上げました。また、28日の夕方から行われた「豊年まつり」では、一般の方も参加した踊りの輪ができ、楽しい秋まつりとなりました。



各種球技大会開かれる

スポーツの秋を迎えた10月、町内では10日に壮年ソフトボール大会、21日に軟式庭球連盟結成記念大会、28日に家庭婦人バレーボール大会（写真）と、三つの球技大会が開かれました。

成績は次のとおりです。

●壮年ソフトボール大会

優勝旭町、準優勝小幡、3位柿岡上宿、東成井

●軟式庭球連盟結成記念大会

〈男子の部〉優勝栗原・白木組、準優勝谷島・植木組、3位笹沼・細谷組 〈女子の部〉優勝藤岡・根本組、準優勝足立・岡野組、3位栗原・桜井組

●家庭婦人バレーボール大会

優勝柿岡A、準優勝林成、3位東成井、小幡、瓦会

身障者スポーツ大会に27名が出場

メダル獲得は金8、銀16、銅10個

10月14日、土浦地方身体障害者スポーツ大会が、土浦市、石岡市、新治郡、筑波郡の2市12町村から選手団が参加し、土浦市営グラウンドで開かれました。

この大会は、身体の不自由な方がスポーツを通じ、体力をはじめ積極的な性格、協調心を養うことを目的に開催されたもので、100メートル競争、立幅跳、砲丸投などの個人競技9種目、障害物リレー、400メートルリレー、むかで競争など団体競技5種目が行われました。

町からは、町身体障害者会長の小河原要さんら27名の選手が参加し、団体競技を含んで金メダル8個、銀メダル16個、銅メダル10個を獲得する成績を上げ、団体（市、郡単位）優勝新治郡の原動力となりました。

写真はメダルを獲得した皆さん。



安全運転競技県大会で

久保田さんが四位に入賞

十月十三日、第三十二回自動車安全運転競技茨城県大会が、水戸市の茨城県自動車学校を会場に実施されました。

この大会は、安全運転の技術と法令遵守の思想を広く運転者に浸透させ、交通事故を防ぐと、茨城県交通安全協会、茨城県警察本部の主催により開かれたもので、県内二十六地区の安全協会から選ばれた代表者が、

お父さんソフト連盟が

運動公園の草取りを奉仕

「体育の日」の十月十日早朝、



大型自動車の部、普通自動車男子の部、同女子の部の三つの種目で競い合いました。

町からは、大字山崎の久保田正美（20）さんが、普通自動車男子の部へ石岡地区代表として参加、学科、実技とも優秀な成績を上げ、四位に入賞しました。



総合運動公園グラウンドの草取りが、町お父さんソフトボール連盟柿岡支部の人たち百名の奉仕活動で行われました。

同連盟では、これからも各支部会員による奉仕活動を予定しているそうです。

◎ありがとう

- 町社会福祉協議会善意銀行へ現金三万円とシート等二万円相当 柿岡内宿七班
- 恋瀬小学校へ一輪車三台とスコップ、シヨベル十丁 大塚 竹林 博
- 町社会福祉センターへぎぶとん三十枚 吉生 外ノ岡 藤夫

